



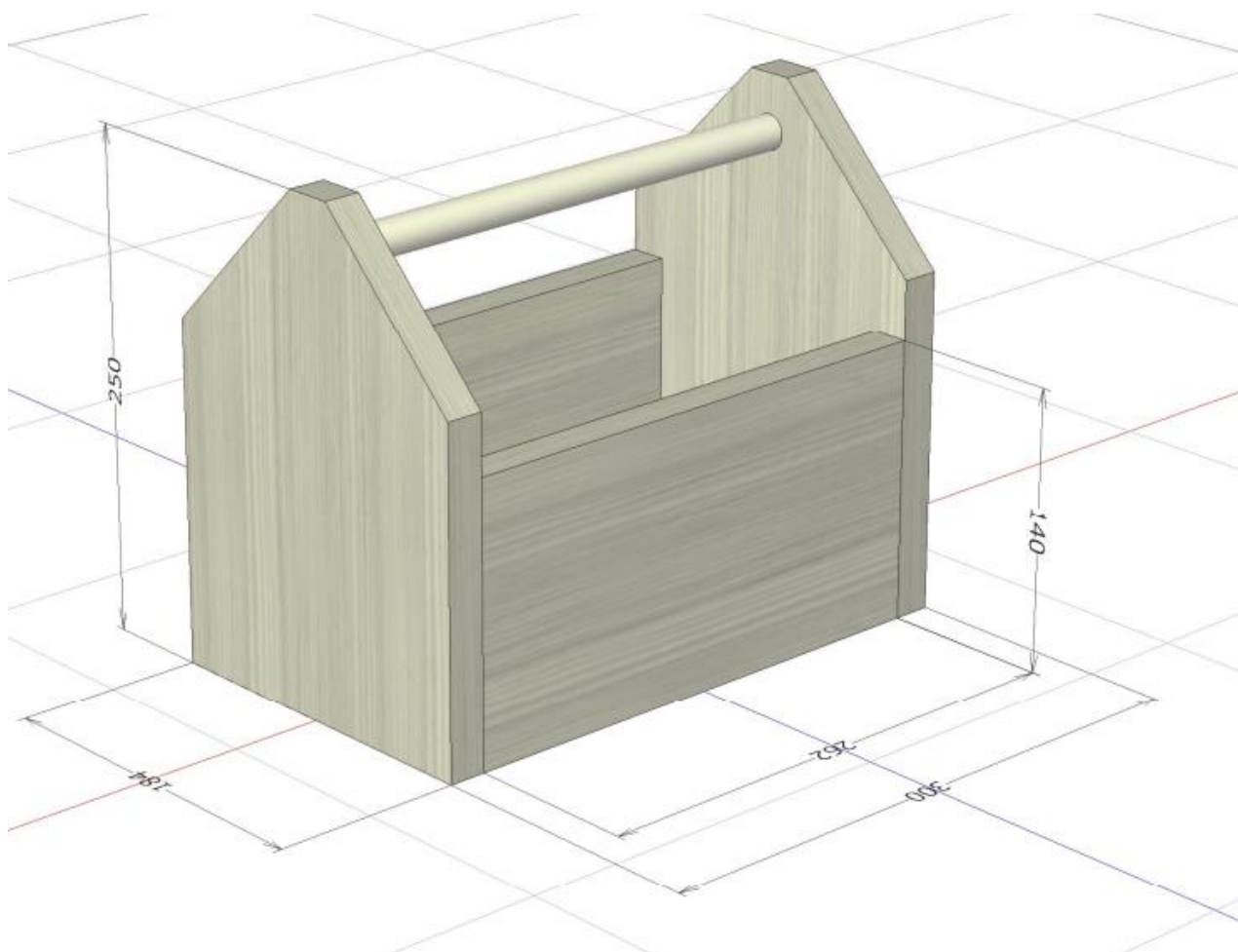
簡単コンテナBOXを作ってみよう♪



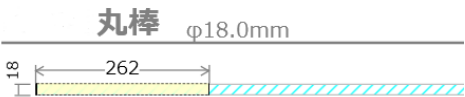
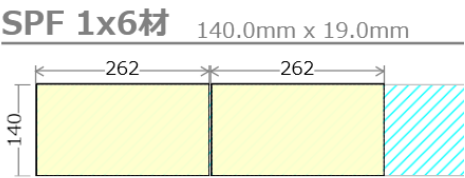
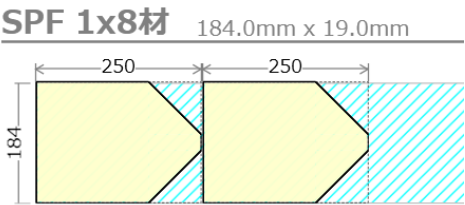
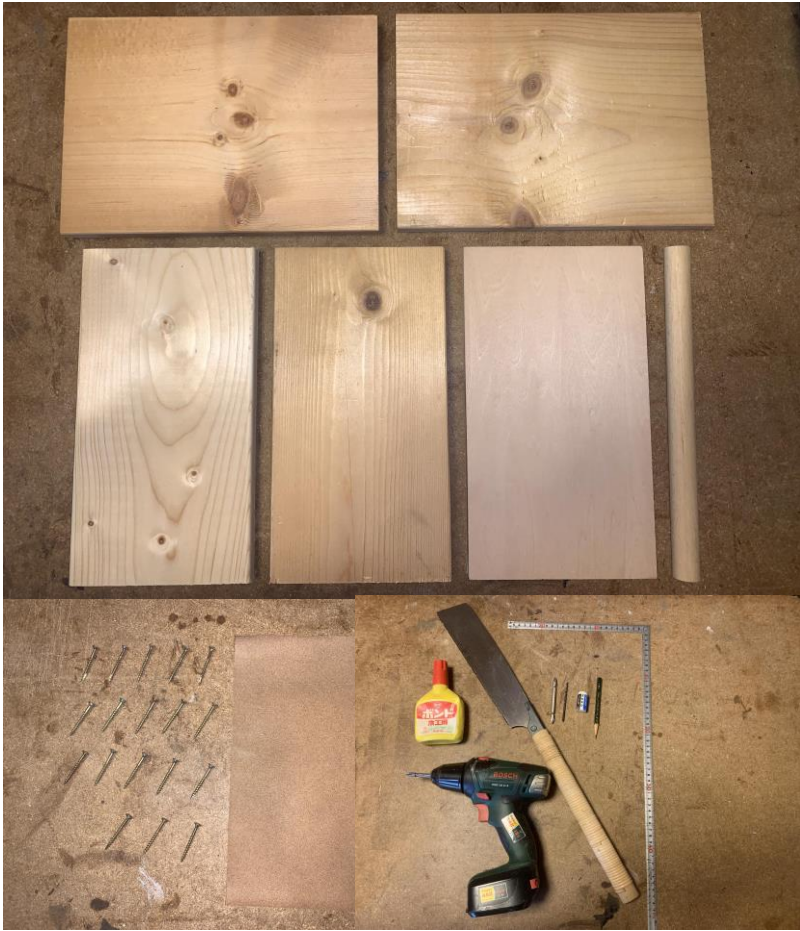
机の上のこまごました物を片づけたり
ガーデニング用品をまとめて運んだり
使い勝手の良いコンテナBOXを作ってみましょう！

箱作りはDIY木工の基本といえます。
今回は、のこぎりや電動ドリルドライバーを使って簡単に組み立てます

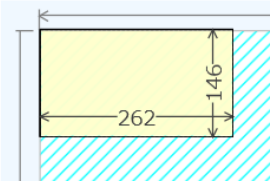
これができれば応用が利くようになりいろいろなものを作りたくなるかもしれませんよ^^



材料を揃える



ランバーコア合板

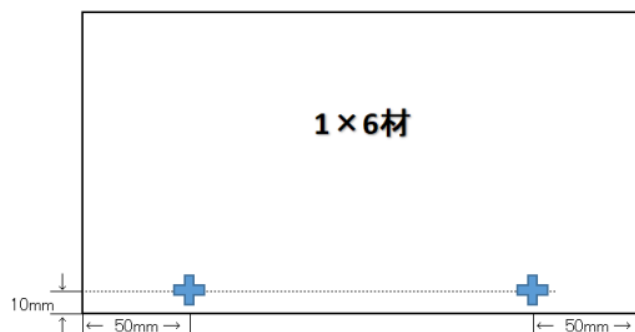
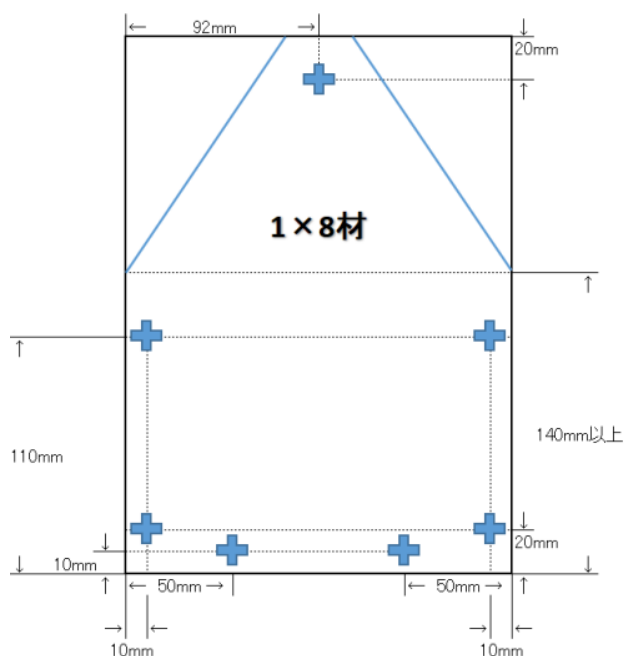


注意：ランバーコア合板以外の合板（ベニヤ板）ではネジが利きません

	名 称	仕 様	数 量
木 材	SPF 1 × 8 材	厚19 × 幅184 × 長300 mm	2枚
	SPF 1 × 6 材	厚19 × 幅140 × 長262 mm	2枚
	丸 棒	直径18mm × 長262 mm	1 本
	ランバーコア合板	厚15 × 幅146 × 長262 mm	1 枚
じ ね	木工用スリムビス	長さ 35 mm	18 本
道 具	電動ドリルドライバー	注：インパクトドライバーは使用困難	
	曲 尺	300ミリか500ミリが便利	
	のこぎり	横挽き用 又は 縦横兼用を使用	
	サンドペーパー	120番 ～ 240番	
	木工用接着剤	速乾性ではない普通のタイプ	
	ドリルビット	2ミリ ～ 2.5ミリ	
	ドライバービット	2番のビットを使用	
	鉛 筆	2B以上のやわらかい芯	
	消しゴム		

Step 1: 板をカットする

①墨付けをする



カットする線とネジを打つ位置を上記を参考に鉛筆で印をつけます。

綺麗にカットするコツは左のように板の側面に垂直の線を引いておくことです。

このひと手間で格段にカット面が綺麗に仕上がりますよ

②墨線が直線に見える場所に位置を合わせのこぎりを当てて切る



墨線が直線に見える位置に体を合わせます



墨線に合わせてのこぎりを当てます

Step 2：下穴を開け、組み立てる

①印をつけた場所に下穴をあける

Point

* 電動ドリルドライバーにドリルビットを取り付け、印を付けた場所に垂直の下穴をあけます。

* 下穴をあけるのは、ネジを打つ際に板が割れることを防ぐ意味があります。また、ネジを打つ際にネジが節などに当たりネジが折れてしまうことを防ぎます。

* 後で打つネジは、この下穴をガイドに入っていくので、極力板に垂直に穴をあける事が大切です



②接着面に木工用接着剤を塗布する

Point

* 塗りすぎ注意！

強力に接着するコツは片面に薄く接着剤を塗ることで。厚く塗ってしまうと強度が弱くなります。

* 接着剤を塗布することで板が反ったり割れたりすることを防ぐ役割もあります

* 白く見える接着剤ですが乾燥すると透明になります。また、はみ出た接着剤は濡れた布などでふき取っておきましょう



③木工用スリムビスで組み立て

Point

* 下穴をあけた場所に電動ドリルドライバーを使い木工用スリムビスを打ちます

* 電動ドリルドライバーに2番のプラスドライバービットを取り付けます。この番号（ビットの大きさ）を間違えるとネジ山を潰してしまいます。（ドライバービットに「PH2」と刻印があるものを選んでください）

* 組み立てる順番に決まりはありませんが、ネジを打ち込む方向に力が入るか確認しながら組み立てましょう

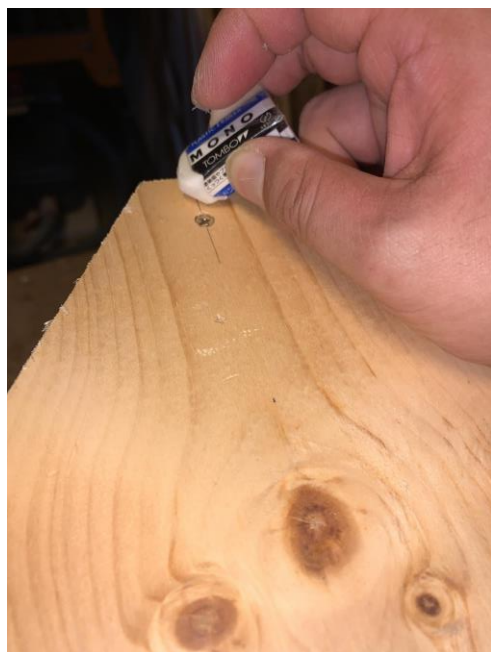


Step 3：整える

①鉛筆で描いた墨線は消しゴムで消す

Point

- *後でヤスリがけをするので墨線を消しゴムで消さなくても良いのではないかとされるかもしれませんが、しかし、鉛筆の線はサンドペーパーでは消えにくいのです
- *ヤスリがけする前にしっかり消しゴムで墨線を消しておきましょう。
- *使用する鉛筆は2B以上の柔らかい鉛筆を使いましょう
堅い鉛筆だと消しゴムで線は消えても木に傷がついてしまいます。ちなみに私は4Bがお気に入りです。



②ヤスリがけ

Point

- *切り口など毛羽立っている所をヤスリをかけて滑らかにします
- *サンドペーパーの裏には番号が書いてあります
数字が小さいほど目が粗くなります。
- 今回使用したSPF材では120番～240番位でよいと思います。
- 120番より小さい番号ですと、板に深い傷を作ってしまう、かえって手間が増えてしまう可能性があります。
- また、SPF材のような針葉樹は240番より大きい番号で研磨してもあまり変化が見られません。



Step 4：装飾して自分らしく

① パターン1 マスキングテープで装飾

*色を塗るのがちょっと大変という声を聞くので今回はマスキングテープを使ってみました。

*作品の保護という点では塗料を塗った方がよいと思いますが、小さくそれほど過酷な状況で使用するの
でなければ特に塗る必要はないでしょう。

*塗料の話はまたの機会にお話しします



② パターン2 チョーク塗料で装飾

*一部分だけチョーク塗料で塗ってみました

*チョークで書いた部分は布で水拭きすると消すことができます



木工家 & DIYアドバイザー

ほしの てつ

かわむら ともみ

株式会社うさ坊 代表取締役

オーダー家具製作・木工教室・木材加工・雑貨販売

<http://www.usabow.jp/>

tel 04-7137-2121 fax 04-7137-2134

info@usabow.jp

